



# さんわ四季報 冬号 2015年 vol.56

## 木の住まい 木は循環する資源



皆様いつも有難うございます。今月号は木に関するニュースをお届けしたいと思います。日本の国土面積は3,779万ha(ヘクタール)、そのうち、2,508万ha(国土の2/3)が森林であり、日本の一つの特徴です。この豊かな森林資源を背景に、木造建築の技術の発展を続けてきたわけで、現在、皆様にお住まい頂いている木造住宅も、そうした技術の蓄積のもとに成り立っています。又、森林は、土砂崩れや洪水などから私達を守ってくれ、二酸化炭素を吸収するなど、私達にもものすごく貢献をしてくれています。当たり前と言えば、そうなのですが…。話を別な切り口で、木に限らず資源を大切に使う事は皆さん思っているかと思えます。石油はいつか無くなる(子供の頃、よく大人が言っていてまだ？ある?)と言われ、再生可能エネルギーの活用が主張されたり、電気自動車や水素自動車が登場しました。木に関しても同じで、使いたいだけ使えば無くなるかもしれません。しかし、木材は育てていく事で循環的に利用可能な資源と言われています。木材は、住宅、大型建築物、製品、紙、最近では燃料やアロマなど、様々な形で役に立ってくれています。日本の森林蓄積量は、平成24年度49億m<sup>3</sup>になり、50年間で約2.6倍に成長しました。そのうち、30.4億m<sup>3</sup>は、私達の先輩方が植えて残してくれた資源です。(YouTube三つ紐伐り南木曾木材 参照)ただし、何もしなければ人も木も育つわけがありません。植林し、下刈りや間伐を行い、手を掛けていかなければ荒廃してしまいます。今、改めて木造を見直す時期が当来している気がします。木材自給率が、昭和63年以来26年ぶりに30%回復した今年、オリンピックに向け、木造のビル、マンション(選手村等)がCLT工法等により次々に計画されています。皆様のおかげで木の技術も進化しています。

資料1-1 森林資源の循環利用(イメージ)



「平成26年度 森林・林業白書」林野庁

日本住宅新聞  
平成27年(2015)10月25日(2)  
**木材自給率30%回復  
昭和63年以来26年ぶり**

三つ紐伐り南木曾木材 参照)ただし、何もしなければ人も木も育つわけがありません。植林し、下刈りや間伐を行い、手を掛けていかなければ荒廃してしまいます。今、改めて木造を見直す時期が当来している気がします。木材自給率が、昭和63年以来26年ぶりに30%回復した今年、オリンピックに向け、木造のビル、マンション(選手村等)がCLT工法等により次々に計画されています。皆様のおかげで木の技術も進化しています。

今年はハウス・オブ・ザ・イヤー3回目のチャレンジです。結果は来年ですが、楽しみにしています。代表取締役 志水哲也

## 9/12・13 TRETTIO OPENイベント ご来場ありがとうございました。

おかげ様で、新モデルハウス「TRETTIO」(トレッティオ)のオープンを迎える事が出来ました。これも、日頃お世話になっている皆様や、近隣の方々のご協力のおかげだと思っております。また、一般公開にはたくさんの方々にご来場頂いた事、心より感謝申し上げます。



## 10/24・25ハロウィンイベント 開催させていただきました。

木枯らし一号が吹きましたが、日差し溢れる温かい中、初のハロウィンイベントに、衣装をしたかわいいお客様も含め、たくさんの方にお越しいただきました。心よりお礼申し上げます。社員も衣装をして、考えましたイベント「ミステリーツアー」「ハロウィンランチ」「育児セミナー」の様子を、ご参加頂いた方々の感想とともにご紹介させていただきます。

### Trick or Treat ミステリーツアー



社内3か所で謎を解き、あま〜いお菓子をゲット! 「三和住建ミステリーツアー」社員で飾り付けを頑張らせて頂きましたが、ご参加いただいたお子様のかわいい衣装にはかないませんでした。少々懲り過ぎたホラーゾーンには、怖がるお子様も若干おりましたが、勇気を出して皆で進んで行きました。最後はモデルハウスの前にて笑顔で記念撮影。「子供たちが楽しんでいました。」などご感想頂け、大変嬉しく思います。



### Happy ハロウィンランチ

今、注目されている時短レシピでのハロウィンランチ。メニューは、かぼちゃリゾットとパンプキンサラダを用意しました。テーブルウェアもハロウィン仕様に手作りする事で気分もとっても盛り上がりました。「簡単でおいしかった」や「すぐ実行出来るので、孫に作ってあげたい」など、嬉しいお声をいただきました。



### 育児セミナー

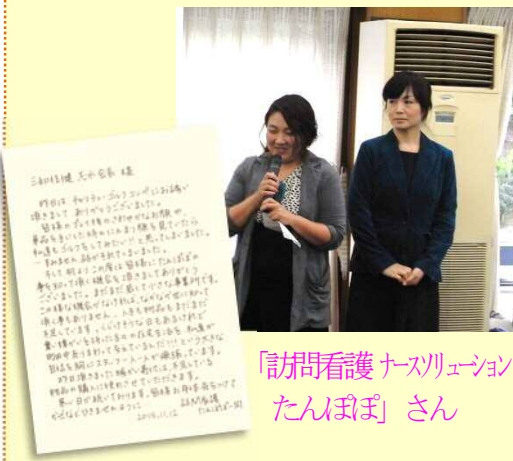
ご好評に続き、第2弾。心理カウンセラー北沢先生による育児セミナー。今回のテーマは「共感力ある子に育てる」です。共感力とは相手の気持ちを理解する、悲しみをわかってあげる力です。これは生まれ持っていない能力な為、親がたっぷりの愛情(過保護)を与え、人に対する思いやりの姿を見せる事が大切だそうです。小さなお子様連れの方は、まさに育児のスタート期に話を聞けて、大変喜んでいらっしゃいました。また、男性の方も多く、奥様、ご主人様ともご夫婦そろって聞きたかったというご感想が多かったです。先生の納得のお話にセミナー終了後もご質問が出るほど、今回もご盛況いただきました。



## 老人のひとり言 ぽつぽつ...

去る11月11日、昨年で終わったはずの「負けてたまるか」チャリティーゴルフコンペを行いました。私の一声で、お客様、協力業者、友人が集まって始めたチャリティーゴルフコンペも回数を重ねること20回、寄付を差上げた障害者の福祉団体は21か所になり、町田の同じ福祉団体に2度、3度と寄付金を差し上げるようになったので、昨年で終わりとなりましたが、参加して下さった皆様から20回も続いているコンペだから今年も行いましょう、という声上がり、計画しましたところ、80名の方々に参加して下さり、雨無し、風無しの絶好のゴルフ日和に恵まれ、盛大に行うことができました。

チャリティ金は122,000円集まり、それに弊社の社長からの寄付金100,000円を加えた合計222,000円を、福祉団体「訪問看護ナースソリューションたんぽぽ」さんに差し上げることができました。「たんぽぽ」は、医療ケアを必要としているためになかなか外出ができない子ども達とご家族の支援をするために立ち上げた訪問看護ステーションだそうです。翌日、「たんぽぽ」の代表者の方がわざわざ挨拶に来られ、大変喜んでくれましたが、喜んだ顔を見ると、やってよかったな、22回、23回...と続けるべきと心に決めましたが、肝心の私は腰痛のため不参加で、大変皆様に失礼したので、早く腰痛を直して、来年こそは参加することを皆様に約束しましたので、早速腰の治療を始めました。が、なかなか良くなりません。気長に治療します。



「訪問看護 ナースソリューションたんぽぽ」さん

